学校番号	1009

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	表現探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	基礎からはじめる国語の表現力トレーニングノート（大修館書店） 新版二訂必携国語（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作文や小論文を書いたり、発表したりすることの多い授業です。専門学校や就職の受験に必要な自己PRや志望理由書の書き方、面接練習などを１学期に行います。授業を通して、言葉で自分の思いや考えを伝える力や、他者の思いや考えを理解する力を身につけてください。
・自分の思いや考えを表現するために必要な語句の量を増し、発表の場や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることを目指します。
・作文などの課題を出します。必ず取り組んでください。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	文章を的確に読み、論理的に考える力や、伝えたいことを自分の言葉で適切に伝える力をつけようとしている。他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げ、深めようとしている。	言葉に親しみ、言葉を通じて他者や社会と関わり、他者に思いを伝えたり、自身の思いや考えを広げたりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	基本的な文章の書き方を身につける。 ［教材］ 言葉と表記 悪文訂正	a：文章における基本的なルールを理解している。適切な語彙を身につけている。 b[書]：基本的な文章の書き方を理解したうえで、読み手に伝わりやすい文章を書くことができる。 c：相手に伝わるような表現や言葉の使い方を工夫しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	自分について言葉を用いて説明する ［教材］ 自己紹介・志望動機 正しい敬語 面接	a：適切な文章表現ができる。適切な語彙を身につけている。場面に応じて、適切な言葉を使うことができる。 b[書]：自身について適切に分析し、言葉でまとめることができる。 （話/聞）：適切な伝え方で相手に自分の魅力を伝えることができる。また、相手の発表を聞き、良いところを見つけ、自分の発表に生かすことができる。 c：自分の文章や発表について振り返り、改善することができる。	作文 定期考査	作文 発表	作文 発表 振り返りシート
二学期	文章で書かれていることを適切に読み取り、自分なりに意見をまとめる ［教材］ 課題作文（社会問題など） 投書	a：適切な語彙を用いて書くことができる。 b：〔読〕本文に書かれている内容を適切に読み取ることができる。［書］：本文に書かれている内容を、自分の言葉を用いて文章で説明することができる。自分の考えを文章で説得力をもって伝えることができる。 c：様々な文章に興味を持ち、理解しようとする姿勢がみられる。	作文 定期考査	作文 定期考査	作文 発表 振り返りシート
	通信文 改まった手紙を書こう ［教材］ 封筒、便箋 お礼状の書き方 時候の挨拶	a：適切な文章表現ができる。適切な語彙を身につけている。場面に応じて、適切な言葉を使うことができる。 b[書]：自身について適切に分析し、場に応じた書き方ができる。 ［書］：正しい通信文の書き方を理解し、相応しい敬語を用いて改まったお礼状を書くことができる。 c：相手に伝わるような表現や言葉の使い方を工夫しようとしている。	作文 定期考査	作文 ディベート	作文 ディベート 振り返りシート
三学期	自分の好きな作品について、自分の言葉で伝える。 ［教材］ プレゼンテーション	a：適切な表現と語彙を用いて自分の伝えたいことを伝えることができる。 b[書]：自分の好きな作品の良さが伝わるレジュメを作成することができる。〔話/聞〕自分の言葉で作品の魅力を伝えることができる。人の発表を聞き、その内容をよく理解できる。 c：相手にわかりやすく伝えるための工夫ができる。人の発表の良い点を見つけることができる	企画書 レジュメ 発表	企画書 レジュメ 発表	企画書 レジュメ 発表 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　２５　　）時間
・書くこと　　…　（　　２５　　）時間
・読むこと　　…　（　　１０　　）時間